

今後の卸売市場整備の方向性骨子（見直し案）

【全体】

今後の卸売市場の整備に当たっては、卸売市場基本方針に示された施設整備の方向性（①流通の効率化、②品質管理及び衛生管理の高度化、③情報通信技術その他の技術の利用、④国内外の需要への対応、⑤関連施設との有機的な連携）を踏まえつつ、大型車対応の荷受け施設や低温管理施設、**中継輸送、共同輸配送に対応する物流機能の強化、モーダルシフト**等卸売市場施設の利用状況の変化に対応するために必要な施設の整備と、施設管理の方法やデジタル技術の導入等開設者と関係事業者が連携したソフト面での取組を併せて実施することが必要。

具体的には、例えば以下のような取組について、各市場の取引実態や地域の特性を十分に把握したうえで検討し、円滑な取引に必要な規模及び機能を確保する。

【検討すべき取組の例】

1. 搬入・荷受施設の整備

※①～⑤は卸売市場基本方針に示された方向性の対応番号

整備の方向性	整備と一体的に取り組む推奨事項
○大型車での搬入（①流通効率化） ・場内の一方通行化、入退場口の分離等物流動線の整理によりスムーズな入退場、荷役が可能となる施設構造の整備 ・入出荷の車両が集中する市場にあっては、複数台の車両が同時に荷役可能な通路、荷下ろし場所等を整備 ・天候に左右されない荷捌きを行うため、庇、大屋根等を整備 ○パレチゼーション（①流通効率化） ・フォークリフト荷役に必要な作業スペースの確保等、パレチゼーションを前提とした施設	・場内の一方通行化、入退場口の分離等物流動線の整理によりスムーズな入退場、荷役を推進 ・必要なフォークリフト台数の確保 ・トラック予約システムの導入により、荷待ち時間の短縮を図ることを推進 ・共有部における駐停車、荷下ろし等のルールの明確化 ・パレット管理ルールの明確化

○デジタル化（③情報通信技術）

・ 検品等を自動化・省力化する RFID タグ付のパレット等を活用できる設備を整備

・ 納品伝票の電子化等、荷受作業における検品等の省力化を推進

2. 場内・搬出施設の整備

整備の方向性	整備と一体的に取り組む推奨事項
○パレチゼーション（①流通効率化） ・フォークリフトの荷役に必要な通路幅、パレットデポスペースの確保等、パレット荷役を前提とした施設整備	・場内の関係者でパレット荷役、循環体制等の現状や問題点を共有し、解決に向けた対策を講じるための検討体制を構築 ・共用部における荷下ろし、荷捌き、荷積み of 秩序形成やパレット管理ルールの明確化に取り組む
○分荷機能の強化に着目した場内物流の効率化（①流通効率化） ・バリアフリーで円滑な物流動線、十分なピッキングスペースの確保、作業環境に配慮した施設 ・想定取扱数量に対して場内が混雑しない余裕のある共用部と導線の面積確保 ・フレキシブルな共用部分を確保した施設	・<u>体への負担の少ないピッキング・運搬が可能な設備・機器の導入</u>

○品質・衛生管理の高度化（②品質・衛生管理）

- ・搬入から搬出までの温度管理を適切に行える閉鎖型施設等の設置（必要に応じた限定的な施工も検討）

○デジタル化（③情報通信技術）

- ・人手不足の解消・省力化を図るため、ＡＧＶ等の自動搬送システムを活用できる施設設備、自動ラック等の整備

○ロールボックスパレット等の活用（④需要への対応）

- ・ロールボックスパレットやドリーでの荷役が円滑に行える、段差のない施設構造

- ・搬出バースのプラットフォーム化、ドックシェルター化

- ・市場内にパレット、ロールボックスパレット、コンテナ等の搬送資材のデポスペースを確保

○大型車による搬出

- ・天候に左右されない荷捌きを行うため、庇、大屋根等を整備

- ・デジタル技術を活用した商品管理により同一の売り場を時間帯別に卸・仲卸が共同利用することを可能とする等、作業スペースの共有化

○施設の有効活用（⑤関連施設との連携）

・共同作業スペース化や利用しない時間帯の多目的利用を
前提とした汎用性の高い施設構造

3. 保管・加工施設の整備

整備の方向性	整備と一体的に取り組む推奨事項
○在庫管理機能の強化（④需要への対応） ・在庫管理機能の強化に必要な冷凍・冷蔵施設等の整備 ○加工施設等の充実（④需要への対応） ・量販店、加工事業者、有機農産物、輸出対応など国内外の需要の変化に応じた荷姿での出荷が可能となるよう、場内に小分け、パッケージング、プレッククへの対応が可能な施設・設備の導入	・ 食品加工による食品ロスの削減を推進

4. 物流機能の強化

整備の方向性	整備と一体的に取り組む推奨事項
○中継共同輸送に対応した荷捌き施設（①流通効率化） ・フォークリフト荷役作業スペースの確保、パレットデポスペースの確保等、パレット化を前提とした施設 ・共同輸送による大ロット化を前提とした施設 ・ワンストップで荷下ろしができる共同荷受け体制への対応が可能な施設配置や共同荷下ろし場の整備 ○品質・衛生管理の高度化（②品質・衛生管理） ・中継共同輸送の際の荷の一時保管に必要なコールドチェーン確保のための冷凍・冷蔵施設等の整備 ○データ連携・デジタル化（③情報通信技術）	・必要なフォークリフト台数の確保 ・自動搬送機や自動フォークリフト等の導入実証の推進 ・卸売市場としての業務に支障を与えない範囲で荷役、荷捌きスペースを有効利用 ・配送に携わる運送業者の把握（見える化）による共同輸配送（共配率や積載率の向上）の推進 ・卸売市場としての業務に支障を与えない範囲で冷凍・冷蔵施設を有効利用

・ 中継共同輸送を効果的に行うために必要な荷のコーディネート、効率的なトラックの配車、荷の管理等に必要なシステムの整備 ○モーダルシフトに対応した拠点 ・ 船舶、貨物列車との接続を踏まえた荷捌き、バンニング（コンテナの積込み）に必要な施設	・ 荷の発着情報、トラックの配車、荷の管理等を効果的に行うための産地とのデータ連携を推進 ・ トラック予約システムの導入により、計画的な荷の搬入出を推進
--	---

5. 防災・環境対応

整備の方向性	整備と一体的に取り組む推奨事項
○防災 ・ 想定される自然災害等に対して、施設の耐震化、耐水化、耐風化に取り組み、災害に強い施設整備 ・ 災害時においても食料の安定供給を維持するため、非常用電源設備を整備	・ 災害時における事業継続計画（BCP）の策定 ・ 地方公共団体等との連携協定等の締結

○環境対応

- ・EV トラック等が市場内で給電できるよう、市場内に給電設備を設置
- ・市場内で発生する食品残渣等を原料としたバイオマス発電、肥料等への再利用等

- ・電動フォークリフト、電動ターレの導入
- ・再生可能エネルギーの活用